

情報通信審議会情報通信技術分科会  
航空・海上無線通信委員会（第24回）議事要旨

1 日時

令和5年10月25日（水）11:00～11:45

2 場所

Web会議（Teams）

3 出席者（敬称略、順不同）

[委員・専門委員]

小瀬木主査、森川委員、伊藤委員、大槻委員、竹内委員、山口委員、児玉委員、齋藤委員、高橋委員、竹之下委員、豊嶋委員、生田目委員、南風立委員、福田委員

[事務局]

総務省総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課 廣瀬課長、長澤課長補佐、和田課長補佐、新井係長、奥井係長、小林主査、塚田官

4 配付資料

資料24-1：航空・海上無線通信委員会報告（案）

資料24-2：航空・海上無線通信委員会報告（案）概要

資料24-3：90GHz帯滑走路路面異物検知レーダーに関する技術的条件の検討開始について

資料24-4：90GHz帯滑走路路面異物検知レーダー作業班の検討の進め方等について

参考資料24-1：航空・海上無線通信委員会運営方針

参考資料24-2：航空・海上無線通信委員会構成員名簿

参考資料24-3：航空・海上無線通信委員会（第23回）議事要旨

5 議事概要

(1) 航空・海上無線通信委員会報告（案）について

- ・9GHz帯小型船舶用固体素子レーダーの技術的条件（案）について

事務局から資料24-1及び資料24-2に基づき説明が行われた。

質疑応答

・基本的にはこれまでの技術的条件をそのまま使えるものは使うとして、追加するものとしては第3種レーダーでは規定されていなかった空中線電力を第4種として使うときは170Wを超えないということを加えること、干渉防止するための措置として、平均電力、それからパルス幅と電力との積について制約を加えて干渉を防止するという事によいか。

（小瀬木主査）

- ・ そのとおりである。(福田委員)

(2) 90GHz 帯滑走路路面異物検知レーダーに関する技術的条件の検討開始について

事務局から資料 24-3 に基づき説明が行われた。

質疑応答

- ・ 3 ページ目で、事前調整が進んだということで、残された大きな課題は電波天文との共用検討という理解で良いか。(児玉委員)
- ・ 電波天文業務も含めて事前調整を行っていた。時間を要していたのが地球探査衛星であったが、現時点において電波天文、地球探査衛星業務について大きな懸念はないという認識である。(事務局)
- ・ 承知した。(児玉委員)
- ・ 事前調整が世界中で進んだということで、3 ページ目にあるように国際標準として SG5 で合意されたという認識で良いか。(小瀬木主査)
- ・ 御認識のとおり、92-100GHz の国際標準化も並行して進められ、合意されている。(事務局)

(3) 90GHz 帯滑走路路面異物検知レーダー作業班の検討の進め方等について

事務局から資料 24-4 に基づき説明が行われ、今後、作業班を設置し検討していくことについて確認があり、特段の質問等なく了承された。

小瀬木主査から作業班主任について、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所電子航法研究所の福島荘之介氏の指名があり、特段の意見なく了承された。

(4) その他

次回の会合については、日程確定次第、改めてご連絡する予定。

以上